



今日のトピック 日本株にまつわる5つの誤解

その5 低成長の日本で株を買っても儲からない？

景気停滞が長引く日本で株を買っても儲からない？

- 日本経済の停滞が続く中、「日本株なんて買っても儲からない」と考える向きは少なくないようです。こうした日本悲観論に昨今の円安が加わり、個人投資家の海外資産シフトが加速しています。2022年上期の公募株式投信への純資金流入額（除く上場投資信託（ETF）、投信協会調べ）は前年同期比2%増の4兆651億円でしたが、外国株投信への流入額は前年同期比40%増の2兆734億円に達しました。

日本株でもROEが改善する銘柄は高パフォーマンス

- 敬遠されがちな日本株でも、パフォーマンスが良好な一群があります。それは、株主資本利益率（ROE）を改善させている銘柄です。日本株のROEが最近のピークを付けた2018年3月末と直近決算期末である2022年3月末について、東証1部上場全銘柄（除く金融・赤字・債務超過企業）をROEで4分位にランク付けし（1が最上位、4が最下位）、ランクの移動と株価の関係を見たのが下の表です。
- 2018年3月末から2022年3月末にかけてTOPIXは13.4%上昇しましたが、ROEのランクが下がった銘柄群のパフォーマンスは大きなマイナスとなりました。一方、ランクが上昇した銘柄群のパフォーマンスは概ね良好で、中でも最下位の「4」から最上位の「1」に大きく上昇した銘柄群の平均パフォーマンスは90.8%に達しました。「株価は経営の通信簿」とも言われますが、日本株でもROEを上げるよう頑張っている企業は、株価上昇という形で市場から高い評価を受けている、と言えます。

【ROEのランキング変化と株価パフォーマンスの関係】

		22年度末ROE 4分位				(%)
		1	2	3	4	
18年度末ROE 4分位	4	90.8	30.3	▲ 7.1		
	3	36.1	10.4		▲ 23.0	
	2	35.0		▲ 17.2	▲ 31.5	
	1		▲ 8.9	▲ 25.0	▲ 25.8	

(注) データは2018年3月末～2022年3月末。東証1部全上場銘柄、除く金融、赤字、債務超過企業。
表中青の網掛けはROEのランクが上昇した銘柄群、赤は同ランクが低下した銘柄群。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2022年7月28日 日本株にまつわる5つの誤解 その4 日本株は割安でも上がらないのでは？
2022年7月21日 日本株にまつわる5つの誤解 その3 日本企業はストレスに弱い？

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。